

一年間の成果発表会（5年生 ver.）

いよいよ明日は、日吉小学校初の全クラスによるオンライン授業配信です。そのための準備・練習を着実に行ってきました。その様子の端々を見ましたが、どのクラスからも一生懸命さが伝わってきました。

今日は2時間目に5年生が視聴覚室で最終リハを行っていたので、その様子を参観しました。

一言で言えば、盛り沢山の発表内容を、一人一人がよくぞここまで頑張っ取り組んできたなあと感心しました。

「威風堂々」の楽器演奏、各教科の学びの発表、そして学校生活に係るスライド発表と大きく3部構成で、どの場面にも必ず全員の順番があり、個がしっかりと位置づいています。そうなれば当然、一人がやるべきことも増えるわけですが、最終リハの様子を見る限り、一人一人が自らのやるべきことを誠実にこなそうとする姿があり、聴く側もしっかりと受け止めようとする雰囲気にも包まれていました。

4時間目終了後の給食配膳前の時間に数名に話を聴きました。「発表するからには・・・」という強い決意、「まだまだ完全ではないので・・・」という向上心、「伝えたい！」という願いが返ってきました。

やること（今回で言えば発表）に対して、形だけではなく、「よりよくしたい。」「見てほしい。」といった想いをもって取り組んでいる、という時点で、この発表には意味があり、価値があります。

また、そうした想いのある発表は、結果的にうまくいかなかったというところがあったとしても、聴き手には必ず伝わります。今日の最終リハを参観していても、一生懸命さ、それまでの努力の跡が十分に伝わってきました。

5年生の成果発表会に向けた練習を見ていて、来年度、最上級生になるということへの気概も感じました。常に先頭に立って全校を動かす、リードするというのは、6年生にならないと誰も経験することはできません。勿論、最初からうまくいくことばかりではありません。しかし、気概を持ち続けければ、真の全校リーダーとなり、日吉小学校全体の高まり・全員の充実感にもつながります。今後の5年生一人一人の自覚と実際の姿が大いに楽しみです。

